

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚がん	
	タイプ	医学情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	統計調査よりみた紫外線と皮膚がん	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ1-7	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ IV ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Biotherapy	
	雑誌 ID		
	巻	1 9	
	号	5	
	ページ	411-416	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 1 ）	
	発行年月	2005	
	著者情報		氏名
筆頭著者		石原和之	皮膚がん予後統計調査研究所
その他著者 1			
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	皮膚がんの地域別、解剖学的部位別発生率	
	研究デザイン	コホート研究	
	セッティング	全国約 100 施設	
	対象者	1987－2001 年まで集積した皮膚がん患者 21652 例の解析。 SCC については 1987-1994 の 1082 例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 1 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	地域別皮膚がん発生数	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	年齢別皮膚がん発生数	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	3	職業別皮膚がん発生数	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	4	癌種別好発部位	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	頭、顔、耳口唇、首に 52.2%、手指も加えると 63%が日光露出部に発生していた。地域では西日本に多い。年度別に発生数をみると全てのがん種において増加がみられる。職業では戸外労働者は全体の 42%を占めていた。	
	結論	紫外線由来の皮膚がんが増加している。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原 久	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 日本人について全国レベルで最も多数例について解析したデータである。 上背部、下腿、足背なども露出部と思われるが、集計上の制約によるためか、結果では考慮されていない。これらを加えれば露出部における SCC 発生率はさらに高くなると思われる。
--	------------	--